



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 憲氏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野 順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,694	△3.8	26	△75.2	28	△73.6	△28	—
28年3月期第2四半期	1,760	△8.3	105	△59.2	108	△58.8	45	△64.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △37百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 57百万円 (△59.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△6.58	—
28年3月期第2四半期	10.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,405	5,718	89.3
28年3月期	6,814	6,070	89.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,718百万円 28年3月期 6,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,571	△1.1	263	△24.2	269	△23.9	161	△18.8	37.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	4,536,000 株	28年3月期	4,536,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	250,712 株	28年3月期	150,712 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,315,889 株	28年3月期2Q	4,485,288 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績が好調なことから、設備投資や雇用者の賃金が改善傾向にあり、また、各種政策の効果もあり引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかし、個人消費の低迷、英国のEU離脱問題の影響等による為替相場の急激な変動や株価低迷等、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

学習塾業界におきましては、少子化、大学入試制度改革、教材のデジタル化など環境が変化しており、資本・業務提携など再編の動きが活発化しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として理科実験授業や農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底してまいりました。また、インターネットを活用した会員数増加のための仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高16億94百万円(前年同期比66百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益26百万円(前年同期比79百万円減)、経常利益28百万円(前年同期比79百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益45百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は6,003名(前年同期比1.0%減)となりました。この結果、売上高は11億1百万円(前年同期比9百万円減)となり、セグメント利益は65百万円(前年同期比4百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、子会社である株式会社日本体験センターを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は9,998名(前年同期比24.4%減)となり、売上高は3億77百万円(前年同期比1億20百万円減)、セグメント利益は47百万円(前年同期比44百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億21百万円(前年同期比3百万円増)、セグメント損失は23百万円(前年同期はセグメント損失24百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は95百万円(前年同期比58百万円増)、セグメント損失は64百万円(前年同期はセグメント損失32百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は53億54百万円(前連結会計年度末比3億55百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が3億42百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億50百万円(前連結会計年度末比53百万円減)となりました。

これは主に、有形固定資産が51百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は5億80百万円(前連結会計年度末比53百万円減)となりました。

これは主に、未払法人税等が20百万円減少したことと、その他(前受金)が17百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億6百万円(前連結会計年度末比3百万円減)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が3百万円増加し、資産除去債務が5百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は57億18百万円(前連結会計年度末比3億51百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が2億47百万円減少したことと、自己株式の取得により純資産合計が94百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期末に比べ2億69百万円減少し、43億25百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は13百万円(前年同期は38百万円の減少)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失が4百万円(前年同期は四半期純利益1億1百万円)であったことと、法人税等の支払額が51百万円(前年同期は61百万円)あったこと、法人税等の還付額が32百万円(前年同期はなし)あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は10百万円(前年同期は42百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が7百万円(前年同期は22百万円)あったことと、定期預金の預入による支出が79百万円(前年同期は79百万円)あったこと、定期預金の払戻による収入が79百万円(前年同期は79百万円)あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は3億14百万円(前年同期は2億24百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払額が2億19百万円(前年同期は2億24百万円)あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想等につきましては、平成28年5月11日付で公表しました業績予想等を修正しております。詳細は、平成28年10月28日付で公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ9千円増加し、税金等調整前四半期純損失は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,420,607	5,077,936
受取手形及び売掛金	19,304	35,002
商品及び製品	100,555	120,000
原材料及び貯蔵品	20,106	15,951
その他	149,846	105,627
流動資産合計	5,710,419	5,354,517
固定資産		
有形固定資産	385,348	334,226
無形固定資産	47,136	41,903
投資その他の資産	671,666	674,674
固定資産合計	1,104,150	1,050,804
資産合計	6,814,569	6,405,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,309	29,415
短期借入金	250,000	250,000
未払法人税等	43,478	23,163
賞与引当金	56,822	60,276
店舗閉鎖損失引当金	3,250	—
その他	239,773	217,202
流動負債合計	633,633	580,058
固定負債		
退職給付に係る負債	67,167	70,492
資産除去債務	22,793	17,391
繰延税金負債	7,191	5,862
その他	13,094	12,694
固定負債合計	110,246	106,440
負債合計	743,880	686,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,915,100	5,667,454
自己株式	△143,953	△238,853
株主資本合計	6,013,546	5,671,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,260	31,233
為替換算調整勘定	22,881	16,588
その他の包括利益累計額合計	57,142	47,821
純資産合計	6,070,689	5,718,822
負債純資産合計	6,814,569	6,405,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,760,695	1,694,228
売上原価	1,153,563	1,175,842
売上総利益	607,132	518,385
販売費及び一般管理費	501,392	492,174
営業利益	105,740	26,210
営業外収益		
受取利息	1,113	496
受取配当金	1,684	1,490
受取賃貸料	907	963
その他	1,291	1,350
営業外収益合計	4,996	4,300
営業外費用		
支払利息	1,822	1,766
その他	660	161
営業外費用合計	2,482	1,928
経常利益	108,254	28,582
特別利益		
固定資産売却益	111	—
特別利益合計	111	—
特別損失		
固定資産売却損	2,170	—
固定資産除却損	1,766	1,289
減損損失	—	31,545
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,250	—
特別損失合計	7,186	32,834
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	101,179	△4,252
法人税等	55,475	24,129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,703	△28,381
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	45,703	△28,381

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,703	△28,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,956	△3,027
為替換算調整勘定	993	△6,293
その他の包括利益合計	11,950	△9,320
四半期包括利益	57,654	△37,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,654	△37,701
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	101,179	△4,252
減価償却費	18,772	22,212
減損損失	—	31,545
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△3,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,493	3,453
受取利息及び受取配当金	△2,798	△1,986
支払利息	1,822	1,766
保険解約損益(△は益)	△8	—
固定資産売却損益(△は益)	2,058	—
固定資産除却損	1,766	1,289
売上債権の増減額(△は増加)	△15,070	△15,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,453	△15,290
仕入債務の増減額(△は減少)	1,467	△10,893
前受金の増減額(△は減少)	△17,232	△17,637
未払消費税等の増減額(△は減少)	△47,870	△5,948
預り保証金の増減額(△は減少)	910	△400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	69	3,325
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,999	20,330
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△26,408	△2,354
その他	△506	△455
小計	22,190	5,504
利息及び配当金の受取額	2,727	1,915
利息の支払額	△1,805	△1,767
法人税等の支払額	△61,312	△51,273
法人税等の還付額	—	32,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,198	△13,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△79,900	△79,900
定期預金の払戻による収入	79,900	79,900
有形固定資産の取得による支出	△22,136	△7,836
有形固定資産の売却による収入	138	—
無形固定資産の取得による支出	△5,488	—
無形固定資産の売却による収入	25	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△15,016	△7,638
貸付けによる支出	△7,000	△3,000
貸付金の回収による収入	6,820	8,403
その他	△133	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,790	△10,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△94,900
配当金の支払額	△224,264	△219,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,264	△314,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	823	△5,152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△304,430	△342,670
現金及び現金同等物の期首残高	4,843,819	4,668,098
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	55,932	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,595,320	4,325,427

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,110,742	497,738	118,283	1,726,763	33,932	1,760,695	—	1,760,695
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	2,838	2,838	△2,838	—
計	1,110,742	497,738	118,283	1,726,763	36,771	1,763,534	△2,838	1,760,695
セグメント利益 又は損失(△)	69,937	92,672	△24,304	138,305	△32,565	105,740	—	105,740

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,101,735	377,665	121,471	1,600,872	93,355	1,694,228	—	1,694,228
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	2,296	2,296	△2,296	—
計	1,101,735	377,665	121,471	1,600,872	95,651	1,696,524	△2,296	1,694,228
セグメント利益 又は損失(△)	65,759	47,806	△23,212	90,352	△64,141	26,210	—	26,210

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントの焼肉店事業において、当初想定していた収益が見込めなくなったことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては31,545千円であります。